



江戸川を守る会

昭和39年の東京オリンピックが開催された年に設立。当時、江戸川は高度成長期による流域の急速な都市化と工場の進出によりゴミは捨てられ、家庭からの生活排水、工場からの汚水が川に直接流入し、かつての江戸川の清流と美しい景観が失われつつありました。

このような状況の中、かつての江戸川の清流を取り戻そうと江戸川沿岸の住民が集まり「江戸川を守る会」が結成されました。

現在も、本会の趣旨に賛同した流域自治体や流域住民が順次加入し「江戸川の清流を守ろう」をスローガンに郷土の河川愛護の啓発活動を行っています。

設立時からの

3大目標



住民は、
河川環境の美化に
つとめましょう



事業者は、
排水処理施設を
整備しましょう

国・自治体は、
汚水処理事業の
早期完成を
目指しましょう

